

5月のできごと

民謡は楽しい！

く全道大会で入賞をしたい
 4月25日全道民謡決勝大会予選会が苫小牧市文化会館で開催されました。この大会で2部門で優勝した松原未歩さんは保育園の頃からはじめた民謡を「だんだん難しくなっているが唄う事は楽しい」と笑顔で応え、「次は気合いを入



写真 左から木下さん・松原さん・片岡さん

れて全道大会で入賞したい」と抱負を語っていました。8月に恵庭で開催される全道大会には木下瑛理香さん（幼少年追分の部入賞）、片岡チヨさん（寿年の1部入賞）も参加し練習の成果を披露してきます。

未来へー町民の森づくり

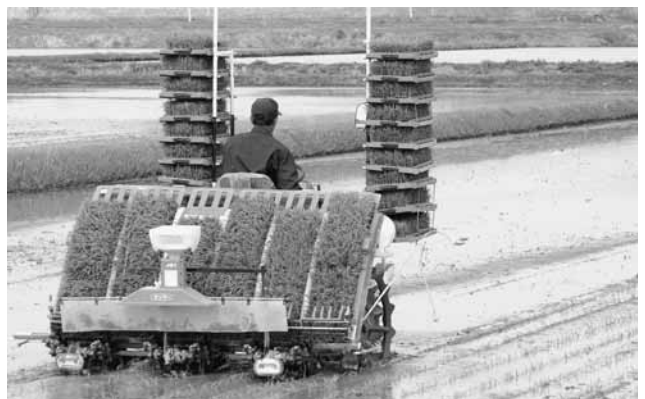
洞爺湖サミット開催を契機に始まった「あびらエネモの森」への3回目の植樹祭が5月12日追分旭の町有地で行われました。

この植樹は北海道が「森づくり」を通して環境貢献へ前向きに取り組む企業に呼びかけ3年前より毎年カラマツを植樹しています。

カラマツの苗木は全て北海道電力株式会社が用意し平成24年まで50ヘクタールに10万本を植樹します。瀧町長は挨拶で「社会貢献事業の主旨に賛同し将来町の財産になる森の保全に協力していただくことへの感謝の気持ちを表すとともに、将来における環境保全や都市住民との交流の場として活用されることを祈念して参加したほくでんグループ社員と一緒に植樹を行いました。



植樹作業を行うほくでんグループ社員のみなさん



秋にはおいしいお米に！

例年よりやや遅れて田植えがはじまりました。追分旭地区から遠浅地区にかけて農家79戸が2週間程の間に行ないます。町内でお米をつくる面積は減少していますが「ほしのゆめ」や「ななつぼし」、話題の「ゆめぴりか」等のおいしい品種を主に植えており、秋には地域ブランドのたんとうまい等として品質の良い地元産のお米として食卓にお目見えするでしょう。

甘いメロンが

できました！

安平町の特産品のアサヒメロンの初出荷が5月14日追分地区の野菜集出荷場で行われました。低温や日照不足の影響もあり全体的には小ぶりのメロンとなりましたが甘さ・品質は十分に確保され「これからも品質の良いものを市場に出荷できます」と自信をのぞかせていました。



翌日札幌中央卸売市場での取引では5玉入り1箱15万円を最高に、出荷した15箱の合計は63万円となりました。